

みんなで話し合いましょう!! 私たちが創る大阪の未来

「民都・大阪」フィランソロピー会議が目指す大阪は、**民が街づくりの主体となる街**。私たち一人ひとりの気づきと創意工夫から多様な市民活動が生まれ、さまざまなNPOがユニークな活動を進め、企業も本業を生かした社会貢献活動を展開し、さらにこうした取り組みに共感して日本中、世界中の人々から寄付などの形で応援が集まる街です。

この街を創っていく**主役は、私たち**。私たちが税を託す行政にも、きちんと責任を果たしてもらわねばなりません。私たちの活動は、それぞれに個性を活かすから多彩になり、自身の責任で自由に取り組むから創造的になり、さらに応援する相手に心をこめて活動できるため、とても暖かいものになります。公平だけれど一律にならざるを得ず、全体の合意を得なければならないため冒険が難しい**行政を超える取り組みが 私たちにはできる**のです。

そこでこれから約20分、**私たちが、それぞれ、どんな形で大阪を素敵な街にしたいか。その取り組みを進めるために、どんな仕組みが必要か**などを話し合い、その内容を皆さんで共有する機会を持ちたいと思います。

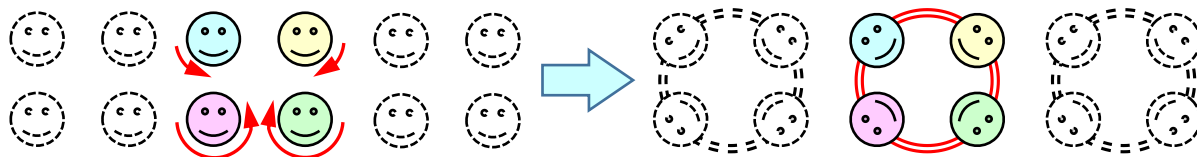
具体的には…

- ・皆さんが、これまで取り組んでおられる活動、これから取り組みたい活動を共有する
- ・力を合わせて共に解決したい課題を出し合う（今後、さまざまな関係者が『協働』して課題を解決する分科会を設定する予定ですが、そのテーマを出していただいても結構です）
- ・今後、市民活動や企業の社会貢献活動を広げるために、必要な仕組みを提案し合う など参加して下さっている皆さん**それぞれの思いを共有する**機会にしたいと思います。

【進め方】

①. 近くにいる**“4人”程度**でグループを作り、椅子を動かして、**車座**になります。

（それぞれが話しやすい規模でワイワイ！話し合います）



※ 小さなグループに分かれ、同じテーマを話し合うスタイルは「バズ・セッション」と呼ばれています。BUZZはハチの飛び交う「羽音」、SESSIONは「会合」の意味で、ハチがブンブン飛び交うように、にぎやかに話し合いが進むことから、この名前が付けました。

②. 以下の【ルール】を尊重し、それぞれが話しやすい場を作りながら話し合います。

- ・一人が一度に話す時間は**最長2分程度**(長くなる話は分割)。一人だけで場を独占せず、メンバーの話をしっかり聞けるようにしましょう。
- ・人の話は(長すぎない限り)最後まで聞き、途中で**さえぎるのは避けましょう**。
(相手を乗せる、合いの手的なツッコミは話を盛り上げますから、もちろんOKです)
- ・思い付きは発明・創造の母。**恥ずかしがらず**、自由に発言しましょう。
- ・メンバーの話の“面白い点”“共感する点”を指摘し合い、批判は避けましょう。
(「うなづき」は相手を励まします)

③. まず「**自己紹介**」を**最長1分以内**で。互いのことを知り合うための情報提供を、話せる範囲でお願いします。

④. そして、いよいよ話し合い。テーマは、**私たちが、それぞれ、どんな形で大阪を素敵な街にしたいか。その取り組みを進めるために、どんな仕組みが必要か**…です。その際、

- ・みんなで解決したい社会課題についての共有や
- ・思いを実現するために1人でできること、10人いればしたいこと、100人がいればしたいこと…といった切り口で話を広げても良いでしょう。また、
- ・行政や企業と連携する仕組みについての提案 などに話が及んでも結構です。

⑤. 20分が過ぎたら終了。このワークシートに貼り付けてある「**ポストイットカード**」(大型の付箋)に、お配りした鉛筆などで…

- a. 明日から、私が地域などで取り組みたいこと(青色のカード)
- b. 大阪をフィランソロピーの街に育てるために私ができること(黄色のカード)
- c. 地域課題を掘り下げるためのプロジェクトのテーマ(ピンク色のカード)

のいずれか一つを書いて下さい。異なるテーマを書く場合、カードを別にして、予備のポストイットカードを使ってください。

(「ポストイットカード」は、ノリが付いていない“表”、付いている“裏”の裏表があり、また裏面でノリが付いている方が“上”、その反対側が“下”の上下もあります。書く時は表面に書いて下さい)

⑥. 書き終わったら、**前のボードにカードを貼りに来てください。**

⑦. 皆さんが張られたカードを整理し、会議メンバーがコメントします。(すべてのカードに対してコメントをすることは時間的に難しいですが、集い終了後、ご自由にご覧ください)